



高知県知事
尾崎 正直

経済交流の一層の活発化を目指して

高知県では、これまで中国安徽省（1994年）、フィリピン国ベンゲット州（1975年）、韓国全羅南道（2003年）の3つの海外自治体と友好交流提携（韓国全羅南道については、観光・文化交流）を締結し、研修員の受け入れや相互訪問、文化、スポーツなど、さまざまな分野で交流を深めてきました。近年の中国をはじめとしたアジア地域の著しい経済成長を受け、この成長を本県への観光客の誘致や産業の発展につなげていくことが重要であると考えています。

このため、高知県では、2009年度から取り組んでいる産業振興計画のもと、第一次産業や製造業などの「地産」を強化し、首都圏はもとより海外市場もにらんだ「外商」に取り組む「地産外商」に挑戦しており、海外商談会や百貨店のフェアでの貿易コーディネーターによる情報提供、売り込みのサポート、輸出意欲のある事業者の掘り起こしなどを行う中で、新たな販路開拓につながる事例も現れ始めました。

また、2012年度からは、高知県上海事務所内に県内企業の中国での活動を支援するためのサポートデスクを設置し、レンタルデスクやさまざまな関連機材の無料貸し出しも始めました。

このような中、今までにも交流のある韓国全羅南道とは、2009年に産業交流協定を結びました。2013年に韓国全羅南道順天市で開催される「2013順天湾国際庭園博覧会」に高知県から日本庭園を出展することとしています。

この庭園は、韓国全羅南道との友好交流締結のきっかけとなった韓国孤児の母と呼ばれる田内千鶴子さん（高知市出身）の功績と、高知県と雄大な太平洋をイメージできるものとし、庭園博覧会会場での観光PRを通じて、世界各国から訪れた入園者に高知県をアピールし、観光客誘致につなげていきたいと考えています。

また中国安徽省とは、今年4月に観光、農業、林業、教育、ジオパークの各分野について覚書を締結し、個別の分野でお互いの交流、協力関係がより強固なものとなるよう取り組みを進めています。

9月に安徽省合肥市で開催されます農業交易会には、高知県からも、物産や観光の出展を行うとともに、安徽省との友好交流の歴史を紹介することで、本県を身近に感じていただき、農産物や加工品等の販路拡大につなげてまいります。

さらに観光面では、昨年、高知県室戸市の室戸ジオパークと安徽省の天柱山ジオパークが、世界認定を受けたことから、高知県と安徽省との間で、ジオパークの友好交流提携に向けた協議を進めており、観光客誘致につなげていくこととしています。

こうした、これまでの海外の地方自治体間との連携や友好交流で培ってきた人とのつながりを最大限に活かすとともに、戦略的に国際交流を進めていくことで、こうした取り組みを、今後、さらに発展させ、本県の経済成長、ひいては県勢浮揚につなげてまいりたいと考えています。

今後とも関係の皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。